

2012年10月1日

報道関係者各位

くすりの適正使用協議会は、「会員拡大」に向け始動

くすりの適正使用協議会(理事長:黒川達夫)は、協議会活動の理念の実現に向けて、「会員拡大」の活動を開始しましたのでお知らせいたします。

当協議会は、設立後 20 余年の間「医薬品の本質の理解促進と医薬品の正しい用い方の啓発活動」を展開し、医療での科学的検証法(薬剤疫学)の定着、医薬品情報提供(くすりのしおり[®])などの成果を積み上げてきました。

本年度 4 月に新理事長に黒川 達夫(慶應義塾大学薬学部教授)が就任し、平成 28 年度までの 5 年の中期活動計画を策定・発表しました。(別紙、「参考資料」参照)

キーコンセプトを「医薬品リテラシー^{*}の育成と活用」と定め、国民の医薬品の適正使用につながる基盤を構築する為に 4 つの基本戦略を推進しています。この中期活動計画の 1 つに「活動拡大への基盤を構築」を掲げております。今般、9 月 13 日に開催されました理事会において会員拡大が承認されましたので、10 月 1 日(月)より会員拡大の活動を開始します。

具体的には、協議会活動を支えて来てくれた研究開発型製薬企業に加え、ジェネリック医薬品企業や一般用医薬品(OTC)企業や医薬品部門を傘下にもつ総合化学・食品企業にも参加を呼び掛けるとともに、企業に限らずくすりの適正使用を支えて行く医療関係者や団体へも賛同者(会員)の輪を広げ、社会の医薬品リテラシーの向上を図っていきます。

新規会員になる企業・団体の目標会員数は、平成 28 年度までに 18 社を予定しており、現会員社と合わせて総企業数 36 社を目標としています。

同時に、協議会の効率的運用の観点から年会費の低減化に努めています。

* 医薬品リテラシー: 医薬品の本質を理解し、医薬品を正しく活用する能力

くすりの適正使用協議会:

くすりの適正使用協議会は、医薬品に関する様々な情報を提供することを通じ、「医薬品を正しく理解し用いることを通して、人の健康保持と QOL の向上に寄与すること」を目的に、1989 年に研究開発指向型製薬企業 11 社によって設立されました。(現在 会員会社 19 社、個人会員 2 名)

創設当初より、医薬品の本質を評価する学問「薬剤疫学」の普及、医薬品適正使用情報「くすりのしおり[®]」の提供など、医薬品の本質の理解促進と正しい使い方の啓発活動を行ってまいりました。

2012 年度からは、社会で“個々のニーズに合った医療の高度化”が求められていることを念頭におき、新たな行動計画を策定しました。キーコンセプトを「医薬品リテラシーの育成と活用」と定め、医療専門者と国民双方に安全で品質の優れた医薬品使用、延いては医療確保ができる価値を創造し続ける活動を行っています。

協議会ホームページ: <http://www.rad-ar.or.jp> くすり教育ホームページ: <http://www.rad-are.com/>

＜会員社一覧＞

アステラス製薬(株) アストラゼネカ(株) エーザイ(株) MSD(株) 大塚製薬(株) キッセイ薬品工業(株)
協和発酵キリン(株) 興和(株) 塩野義製薬(株) 第一三共(株) 大正製薬(株) 大日本住友製薬(株)
武田薬品工業(株) 田辺三菱製薬(株) 中外製薬(株) 日本新薬(株) ノバルティス フーマ(株)
ノボ ノルディスク フーマ(株) Meiji Seika ファルマ(株) (19 社)

参考資料

●中期活動計画(平成 24 年度～平成 28 年度)

基本戦略：

1. 国民のくすりへの意識をレベルアップ
2. 医療専門家への「医薬品リテラシー」の知識・技術の向上と医療エビデンスの創出・公開を支援
3. ベネフィット・リスクコミュニケーションを推進
4. 活動拡大への基盤を構築

これらの確実な実行を通じて、安全で品質の優れた医療確保ができるような新たな価値を創造し続ける協議会に変革していきます。

* 医療専門家：医療従事者や医療関係者などを言う。

キーコンセプト：医薬品リテラシーの育成と活用

中期活動期間：平成 24 年 4 月～平成 29 年 3 月

●新規企業会員誘致(勧誘)の基本方針

- ・過去に加入歴のある製薬企業
- ・未加入の製薬企業
- ・ジェネリック医薬品企業／一般用医薬品(OTC)企業
- ・医薬品部門を傘下に持つ総合化学・食品企業

●中期の年間活動事業規模：

・年間事業規模 : 約1億円

●新規企業会員年会費：

300 万円

●新規会員希望の問い合わせ：

メールアドレス：info@rad-ar.or.jp
電話：03-3663-8891
FAX：03-3663-8895

【お問い合わせ先】

くすりの適正使用協議会 広報部 谷村、梅田
東京都中央区日本橋堀留町 1-4-2 日本橋 N ビル 8 階
TEL/03-3663-8891 FAX/03-3663-8895
E-mail:info@rad-ar.or.jp URL: <http://www.rad-ar.or.jp/>
